



[トップ](#) [会社概要](#) [企業理念](#) [販売店](#) [人気記事](#) [イベント](#) [関連企業](#) [奄美の名店](#) [郷友会](#) [今日の記事](#)

2014.09.09

カテゴリ：本社通信

名瀬出身 津江さん個展



「ささやき2014」に寄り添う津江さん。壮大な森羅万象の世界観を幻想的に描き出し、訪れる人を魅了している

森羅万象の世界観表現

銀座幸伸ギャラリー「華のささやき」

【東京】古本屋で偶然出会った「平家納経」から、金箔、銀箔の装飾美と世界観に惹かれ、新しい日本画の世界を世界に発信し続けている津江三千子さん（奄美市名瀬出身）が8日から、銀座幸伸ギャラリー（中央区銀座7）で個展を開催している。今回は新作14点を含む17点を展示。自然や心象風景などが融合する森羅万象の世界を描いた作品に心揺さぶられ、長い時間、足を留める来場者の姿が多くみられた。

津江さんは38歳から本格的に絵を始め、現在ではフランスの美術展覧会「サロン・ドートンヌ」に毎年入選する常連となっているほか、日仏世界現代展、パリ国際サロンなど、世界の美術展で作品を発表。活躍の場を広げている。

今回の個展は「華のささやき」というサブタイトルが付けられ、さがりばなや桜、ゆきやなぎなどをモチーフに、生命と死が巡る森羅万象の世界を表現。滝から流れた水面の上に、やわらかな光を受けて咲くさがりばなど、その花が水面に落ち、命が巡るさまを表現した「ささやき2014」は最も大きな作品で、訪れる人を包み込むような圧倒的な存在感を放っている。

また、幻想的な月明かりにふわと浮かぶように咲くさがりばを描いた小さな作品の中には、本来は白やピンクに咲く花を、赤やオレンジ色で描いた「さがりばな七変化」と題した遊び心あふれる作品も。そのほか、生命力あふれるガジュマルを描いた旧作なども展示している。

津江さんは、「装飾の美しさ、深さで日本の美術は一番。（影響を受けた）『平家納経』からは、祈りや一人ひとりの心にある神など、人間を超えたすごいものを感じる」などと語り、壮大な作品を通して観る人にメッセージを送っている。

同展覧会は14日まで開催。時間は午前11時～午後7時（最終日は午後5時）まで。

問い合わせは銀座幸伸ギャラリー管理事務所（電話03-3572-3888）。

[G+1](#) [ツイート](#)